



自然と人との絆のために



JA
広報

そらちみなみ

新年号

2013 Vol. 48

明けましておめでとうございます

組合員の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年もご家族皆様が健康で良い年でありますようご祈念いたします。

平成25年 明るく新春を迎えて



代表理事組合長
大友伸彦



代表理事専務
中島孝幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、ご家族とともに輝かしい新春をご健勝で迎えられておりますことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より農協の各事業運営に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年を顧みますと、大雪の影響により融雪・春作業の遅れが懸念されましたが、5月のは種・移植等は順調に推移しました。6月は干ばつに見舞われ、大豆・玉葱を中心に初期生育に不安の残るスタートとなりましたが、7月以降は天候に恵まれたことから順調に生育がすすみました。しかし、10月以降は断続的な降雨に見舞われ、組合員皆様におかれましては、作業に大変ご苦労されたことと存じます。

そのような中、水稲については、全国作況102、全道・南空知では107と昨年に続く豊作となりました。またゆめぴりかをはじめとする北海道米が品質評価や知名度の高まりから強い引き合いを見せており、これもひとえに組合員皆様の米穀施設を中心とした高品質米出荷ご協力による賜物であると確信しております。

一方で先に発表された25年産米の配分では、昨年に比べ全国で2万ト強、そのうち北海道では1万ト以上が減少となり、組合員皆様協力の下、需給調整を順守してきた産地として厳しい結果であり、今後、連合会等と連携し生産供給体制の確立や産地資金増額等の対策を求めて参

ります。

各作物の収量については、小麦は降雪や干ばつの影響もあり平年を下回る残念な作況となり、本年より春小麦は「はるきらり」、秋小麦は「ゆめちから」と作付品種を一新して高収量・高品質麦の生産を目指します。その他、種馬鈴薯や玉葱をはじめ、定植時期・生産者・圃場等によりバラつきがみられたものの、全体的に平年並みの結果となりましたが、価格については、夏場の猛暑による消費の落ち込みや収穫期の早まりによる府県産との競合と、全体的に価格安での取引が余儀なく、特に青果物では大きく影響したところでございます。

世界的には、年々異常気象が頻発する事態が続いており、人口増加による食糧需給もひっ迫の傾向が強まっております。今後も穀物の国際価格は上昇することが予想され各国とも資源の安定的な確保が課題となる中、自由貿易交渉は加速しつつあります。

TPP交渉については、以前より十分な議論・説明がない中での交渉参加にJAグループを上げて抗議活動を展開しておりますが、日本においても安定的な食料自給の確保が求められており、食料自給率40%に満たない日本が、例外なき関税撤廃が原則の貿易交渉に参加するのは断じて容認できるものではありません。

引き続き交渉参加断固阻止に向け徹底した対応を図るところであります。

農業を取り巻く環境が変化し、JA経営においても規制強化や多業種との競争等、変革が迫られる中、昨年11月には第27回JA北海道大会が開催され、「持続可能な北海道農業の実現」「次代を担う協同の実践」が決議されました。

我々も地域に根ざすJAとして、役職員一同、昨年の総代会で決議された「第2次地域農業振興・経営計画」で掲げた「夢と希望のもてる農業の実現」に向け、振興作物の集約や技術指導など生産体制の強化による収量増加・組合員皆様の所得確保を目指し、「頼られるJA」であるべく邁進して参りますので、引き続き深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、組合員皆様のご健勝とご多幸で、豊穡の秋を迎えられますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



平成25年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長
飛田 稔 章

組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成25年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、一部地域での豪雪の影響などにより農作業の遅れなどがありました。その後比較的天候に恵まれ、降電被害や台風による被害などによって地域や作目による差はあるものの、組合員・JAの努力が報われ総体的には豊穡の出来秋となりました。

さて、平成23年の東日本大震災から2年が経とうとしておりますが、復興への道筋は決して容易なものとはなっておらず、また原発事故の収束にも用途が立たず、全国の農業者や消費者は不安を抱えています。JAグループは、被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けていくこと、安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合の精神である「絆」を大切にする価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です。

なお、今冬は電力不足の可能性から、北海道では今夏の取り組み同様7%以上の節電目標が設定されました。もし万が一にも計画外停電となった場合には相当の支障が生じることが危惧されることから、JAグループ北海道として節電に取り組んでいく必要がありますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、本年は『協同活動でつくる持続可能な農業と地域社会』を主題に開催した第27回JA北海道大会決議事項の実践初年を迎えます。本大会は向こう3か年間のJAグループ北海道のめざすべき方向を決定し、これを内外に表明するとともに組合員ならびに役職員の意識高揚を図

り総力を結集して決議事項の実践を図ろうとするものです。

大会決議事項の「持続可能な北海道農業の実現」では、日本の食料基地北海道として、安全・安心な農畜産物を生産し、安定的に消費者に提供するという使命を果たすために、持続可能な北海道農業の実現に向けて、必要な農業政策を国に求めていくとともに、自らも農業生産を担う多様な担い手の確保・育成、農業生産に意欲を持つて取り組める農業所得の拡大、食の安全・安心対策の実施と環境に配慮した農業の実践に取り組むことを決議しました。

一方、「次代を担う協同の実践」では、JAグループ北海道の組織・事業・経営において、JAの経営を担う次世代の担い手の正組合員加入を促進し、次代に向けてともに協同活動に取り組むこと、地域におけるライフラインの一翼を担うものとして、総合事業体の強みを生かし、組合員・利用者(地域住民)から高い満足度を得られるサービスを提供するため、自らがさらなる経営の健全性向上に取り組むこと、加えて、組織を支える人づくりとJAグループ北海道への理解醸成に向け広報活動に積極的に取り組むことを決議しました。

また、TPP交渉参加断固阻止に関しては、多くの関係機関と連携の上、理解促進運動を継続し、組織の総力を結集し不退転の決意で徹底して闘うことを特別決議として再確認しました。

大会決議に基づく基本目標の具体的成果に向け、JAグループ北海道の総力を挙げて取り組みましょう。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によっては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役職員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年も災害がなく、豊穡の秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の年となりますよう心から祈念申しあげ、新年にあたってのご挨拶といたします。



新年を迎えて

そらち南農協青年部長

上田 喜也

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をご健勝で迎えられました事を心より御慶び申し上げます。また平素より私達青年部活動に對しまして多大なるご理解とご協力賜り心より厚くお礼申し上げます、年頭のご挨拶を申し上げます。

私、昨年平成24年度青年部部長という大役を仰せつかることとなり、責任の重さを痛感し青年部活動を行ってまいりました。役員、青年部全盟友と共に力を合わせ活動を展開してまいりました。

さて、昨年を振り返ってみますと前年度同様、世界各地で異常気象が原因で被害が多発し、我々の日本全国でも被害が増加した年となりました。

道内では一昨年12月、2週間にわたり降り続いた大雪の影響で、管内でハウス、倉庫の倒壊被害が何件も起き、越冬作物への影響が報告されました。雪解けも思うように進まず、水稲の播種・田起しの遅れが見られました。しかし7月8月は天候にも恵まれ、水稲の生育は順調にみられました。北海道の米の作況指数が107、南空知も107と発表され病気の発生も少なく豊作の年となり、品質のよい米の出荷、収量を得ることができました。しかし畑作物に関しては10月11月は長雨の影響でジャガイモ・てん菜の収穫が大幅に遅れ、また市場においても、野菜の価格低迷により、生産者の苦悩が続いた秋になりました。

2011年3月11日におきた東日本大震災。今もなお被害の影響は出ており被災者の方々にはお見舞いと、今後の早い復興をお祈りしていま

す。

福島原発の放射能事故により今も尚、風評被害が我々北海道へも影響していることは否めません。消費者への安心・安全を胸に頑張ってきましたが、今もなお日本の農業が危機を迎えています。またその不安を増大させているのがTPP問題。日本政府は未だTPP問題に関しては我々農業者・国民に詳しい説明も返答もなく政策を打ち立てています。関税撤廃の例外措置を認めないTPPに参加すれば、食料自給率は大幅に落ち込むことは間違いなく、農業を営む我々にも大打撃を受けることは間違いありません。JAグループを筆頭に我々青年部も断固反対を訴え続けていく決意です。

日本の農業を元気にするため、全道青年部一丸となり「絆」を胸に農業の発展と繁栄を誓い営農に勤めてまいりたいと考えています。

さて、昨年の青年部活動を振り返ってみますと、我々そらち南青年部は盟友が一丸となり今できることを活動し消費者へそらち南の農産物をアピールして参りました。

2月、空知管内の青年部単組によるスノーメッセージの作成、我々は「人十人絆」を雪山に制作。日本国民すべての人はこの絆を胸に頑張っている中、我々若き青年部の盟友も気持ちを一つに頑張っているという気持ちで作成し、アピールしました。

2月にはミニバレーボール、6月にはソフトボール大会を行い各支部盟友の親睦を深める事ができました。7月には白石区民ふさと祭りでの採れたて野菜の販売、9月にはホンダカーズ札幌農産物PRを実施し、盟友のみなさんが春から頑張った定植・収穫した野菜をたくさん消費者の方へそらち南の農産物を提供、PRをすることができました。また24年度は合併後初めて6月に青年部部員研修を行い、60名以上の盟友に参加していただき、帯広方面へ研修・視察をし充実した時間を過ごすことができました。また空知管内の各単組の盟友との交流を大事に考え、部長会議内での交流、空知青年部大会、全道青年部大会等の参加、代表者による海外視察研修に参加をし交流を深め

てまいりました。同年代の各単組との交流は色々な経験と意見を素直に交流できる場として、とても刺激になり、今後の営農に生かそうと考える時間を過ごせました。

例年の事業である食農教育事業については、栗山支部では白石区青少年育成協議会を招き田植え、稲刈り体験ツアー、由仁支部では小学5年生を対象に田植え、稲刈り体験、三川支部では三川小学校全校児童を対象に、各学年で違う野菜の定植から収穫の体験を行いました。汗をかき泥にまみれながら、楽しんで頂いた市民の皆さん・小学生児童の姿をみて我々青年部盟友も実施してよかったと実感しました。

農業情勢は益々厳しい時代へと向かっていますが、我々青年部は、地域住民と農業を基盤とした豊かな地域社会を築く為、生産性の高い農業の確立と所得確保対策を求め、より安全で安心な農畜産物の生産と「食と農の大切さ」を訴えていく為に、盟友一丸となり総力を結集し、今後の事業の継続と青年部の歴史を築いてまいりたいと考えています。

このように様々な青年部活動ができたのも、盟友の協力は勿論のことですが、何よりも盟友のご家族、そして関係機関に皆様・諸先輩の方々に深いご理解とご協力があったからこそと思っています。新年度の青年部事業推進にあたり、昨年同様にご指導・ご鞭撻の程をよろしく願います。

結びとなりますが、皆様を始め、ご家族がご健勝で豊穰の秋を迎えられることを心よりご祈念致しまして年頭の挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

そらら南農協女性部部長

窪田 智子

新年あけましておめでとうございます。

平成25年の輝かしい新春を部員みなさまと迎えられました事をお慶び申し上げます。

日頃より、女性部活動に對しまして、特段なるご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、JAそらち南女性部としての活動は昨年で4年目ですが、北海道のJA女性部組織が、JA運動の担い手組織として発足以来60年が経過し、明るく豊かな農村を築くため、そこにはたくさんの方の汗や涙があり、永い年月をかけて活動した結果多くの成果が得られました。

しかし、農業・農村をめぐる情勢は依然厳しいものがありますが、私たちが女性パワーを発揮し次世代に続く食農教育や地産地消運動に発展させていかなければと思います。

私にとって、女性部活動は足元を見つめなおしながら、自分の夢が叶えられるところです。

昨年、みなさまのあたにかいご支援を受け、平成24年度JA北海道女性協議会海外研修、ドイツへ8日間の海外視察研修に行つて来ました。結婚した当時から、ずっと海外研修のチャンス wait していました。「ああなりたいな、こうなりたいな、とプラスの言葉を言っている、聞いてくれる人もいる、夢が叶うこともある。」という言葉通り、会員のみなさまも女性部活動を通して、自分の夢を叶えるきっかけを見つけてほしいと思います。

平成25年、あなたの夢は何でしょうか？

これから、そらち南女性部へのご理解とご協力よろしく願います。

本年も、みなさまそしてご家族がご健勝で豊穰の秋を迎えられます事をご祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。

今年もよろしく お願いいたします

JAそらち南 役員

代表理事組合長	大友 伸彦
代表理事専務	中島 孝幸
常務理事	佐々木 禎
筆頭理事	北 輝男
理事	石川 富夫
理事	松井 隆典
理事	山本 博行
理事	細山 孝一
理事	国田 俊幸
理事	橋場 一敏
理事	清水 哲雄
理事	高嶋 雅彦
代表監事	國岡 正好
監事	萩生田 祥潔
常勤監事	松岡 裕
員外監事	角田 伸慶

そらち南農協青年部

部長	上田 喜也
副部長	水上 秀樹
書記長	南 洋一
事業部長	中村 隆浩
事業部長	片桐 邦博
事業部長	菱谷 典雄
監事	吉本 聖二
監事	細山 拓也

そらち南農協女性部

部長	窪田 智子
副部長	川崎 幸子
副部長	浅田 輝子
監事	大野美代子
監事	山田 徳子

「JAそらち南「ゆめびり」」生産組合

組合長	南坂 明憲
副組合長	岩崎 俊博
副組合長	大塚 史明
監事	中谷 保
監事	吉野 弘恭

そらち南減農薬米組合

組合長	梅田 健一
副組合長	瀬尾 正樹
副組合長	石川 義晃
監事	尾上 敬二
監事	井澤 雅彦

そらち南農協米作研究会

部長	塚本 政紀
副部長	青木 悟
会長	長尾 卓也
監事	川畑 憲吾
監事	橋本 克己

そらち南農協米穀乾燥調整施設（由仁地区）運営委員会

委員長	大友 伸彦
副委員長	石川 富夫
副委員長	松田 一博

そらち南農協米穀乾燥調整施設（山田地区）運営委員会

委員長	大友 伸彦
副委員長	中島 孝幸
副委員長	北 輝男

そらち南農協米穀乾燥調整施設（山田地区）運営委員会

委員長	石川 富夫
副委員長	高嶋 雅彦
副委員長	大友 伸彦
副委員長	中島 孝幸
副委員長	北 輝男

そらち南麦・豆類採種組合

組合長	芦沢 功
副組合長	藤田 淳
副組合長	田中 範之
会長	荻野 一彦
監事	笹谷 和広
監事	荒瀬 憲一

そらち南農協てん菜振興会

会長	重田 順栄
副会長	砂田 正春
監事	清野 隆良
監事	沢田 雅文

そらち南玉葱振興会

会長	西田 秀樹
副会長	村口 学
副会長	斉藤 隆浩
副会長	森出 義弘
監事	前田 透
監事	堀江 重文

由仁町まごころ玉葱部会

会長	黒田 良行
副会長	岩崎 俊博
副会長	中嶋 悟智
副会長	白川 享彦
監事	村口 学

JAそらち南南瓜振興会

会長	川端 敦
副会長	吉田 義昭
副会長	村上 和繁
副会長	辻谷 尚希
監事	岡本 勝幸

グリーンヒル生産振興会

会長	溝口 馨
----	------

栗山町「栗マロン」研究会

会長 柴田 重夫

副会長 井波 俊一

副会長 川浦 慶一

会 計 桜間 弘晃

監 事 佐藤 貞男

監 事 佐藤 好美

そらち南農協食用馬鈴薯部会

部会長 浅川 景徳

副部会長 橋本 尚彦

会 計 吉野 弘恭

監 事 森本 淳

監 事 大塚 敏史

そらち南農協加工馬鈴薯部会

部会長 大島 敏弘

副部会長 砂田 正春

会 計 羽賀 文恭

監 事 小松 豊和

監 事 沢田 裕

そらち南ジャガキッズ研究会

会 長 斉藤 栄吉

副 会 長 南坂 明憲

会 計 清水 清

監 事 高野 博康

監 事 元田 隆

そらち南農協栗山地区種馬鈴しよ共選営委員会

会 長 大友 伸彦

副 会 長 中島 孝幸

副 会 長 正井 文雄

副 会 長 橋場 一敏

会 長 石川 富夫

副 会 長 高嶋 雅彦

副 会 長 田中 勲

副 会 長 高嶋 雅彦

副 会 長 橋場 一敏

副 会 長 橋場 一敏

副 会 長 北 輝男

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

監 事 原田 政信

そらち南農協長葱部会

会 長 中嶋 常隆

副 会 長 川崎 浩樹

副 会 長 川崎 俊樹

会 計 水上 秀樹

監 事 棚村 優

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

監 事 角 昌幸

そらち南農協ピーマン部会

会 長 杉本誠一郎

副 会 長 岩崎 政芳

副 会 長 窪田 新作

副 会 長 藤田 邦治

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

監 事 山田 義美

そらち南農協苺苗部会

会 長 山本 強

副 会 長 西山 隆

副 会 長 中島 孝幸

副 会 長 藤島 浩吉

副 会 長 藤田 淳

副 会 長 清水 治広

副 会 長 荻野 一彦

副 会 長 藤柳 一哉

副 会 長 塚本 政紀

副 会 長 上野 義信

副 会 長 安川 里史

副 会 長 北井 友章

副 会 長 作田 茂与

副 会 長 大塚 敏史

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

副 会 長 小柳 隆志

由仁町農業再生協議会

会長 長 大友 伸彦
会長代理 石川 富夫
副会長 大島 敏弘
副会長 野島 芳光
副会長 渡辺 修久
監事 大塚 敏史
監事 田中 勲

栗山町農業再生協議会

会長 長 椿原 紀昭
副会長 中島 孝幸
監事 桂 一照
監事 田村 繁則

栗山町米麦改良協会

会長 長 中島 孝幸
副会長 北 輝男
副会長 荻野 一彦
副会長 堀田 博
監事 大久保明義
監事 青山 悟

由仁町米麦改良協会

会長 長 大友 伸彦
会長代理 石川 富夫
副会長 鶴田 健一
副会長 羽賀 直文
監事 龍方 利忠
監事 田中 範之

そらち南農協水稲直播部会

会長 長 元木 斎
副会長 賀集 優彦
監事 計 東 澄彦
監事 南坂 明憲

そらち南酪農協議会

会長 長 熊林 和男
副会長 倉知 修
書記 倉知 孝裕
監事 黒澤 耕一
監事 権平 敬保

そらち南乳牛検定組合

組合 長 権平 敬保
副組合 長 三谷 耕一
書記 倉知 敏
監事 倉知 修
監事 細田 治憲

そらち南酪農ヘルパー利用組合

組合 長 黒澤 耕一
副組合 長 亀田 壮将
書記 大西 康人
監事 熊林 和男
監事 三谷 孝裕

そらち南和牛生産組合

組合 長 蛇谷 靖
副組合 長 大櫛 和矢
監事 大井 賢治
監事 滝口 賢治

そらち南農業協同組合

参事 齊藤 和邦

監査室

監査室 長 八巻 広一
監査課 長 白勢 強

管理部

管理部長 高崎 泰彦
管理課 長 鳴海 秀樹
管理課 補佐 永山 隆史
管理係 主任 嶋田 由恵
管理係 赤尾 千春
(青山 佳純)
(山崎 菜美)

企画審査課 長 高橋 慎治
(加納 恵子)

金融部

金融部長 中川 昇
金融課 長 山川 峰徳
融資係 長 平田 尚美
貯金係 上田 紀子
山本由紀恵
菊地 静香
(秋原 椎名)

経営相談課 補佐 蝦名 誠
経営相談係 長 糸塚 憲士
経営相談係 補佐 佐藤 好則
共済課 長 本田 隆

共済係 松田 夢希
小林 宏美
(桐田 果歩)

渉外係 長 吉尾由美子
(有塚由美子)

渉外係 角屋 卓実
高田 祥太

事故サービス係 森 政徳
【高橋 隆二】

営農部長 高橋 浩
農業振興課 長 佐野 滋
農業振興係 富樫 真由
村上 大
中野 隆宏
(小林 展子)

営農指導課 長 岩崎 慶司
営農指導係 長 酒井 隆次
営農指導係 當摩 直樹
渡辺 鮎美
【伊藤 秀次】
【国田 好枝】
【尾崎 政春】

販売部長 高尾 洋二
米麦畜産課 長 清水 邦晃
米麦畜産課 補佐 西澤 克美
米麦係 長 山内 一広
米麦係 主任 馬淵 亮介

技術アドバイザー 尾崎 政春

販売部

米麦係 矢萩 健
後藤 佑也
飛渡 弘美
(石崎 亮)

畜産係 長 田村 修司
畜産係 宮本 佳明
(柳本 由子)

馬鈴しよ玉ねぎ課 長 岩崎 孝
馬鈴しよ係 長 佐藤 幸博
馬鈴しよ係 加藤 大典
藤本 雄太
吉野 孝則
山本 郁里
(村中 政貴)

玉ねぎ係 長 鈴木 俊行
野菜花き課 長 稲田 昌史
野菜花き係 長 菅原 尚泰
野菜係 長 稲毛 保之
大湊 寿隆
佐川 誠
(府川 麻姫)

花き係 長 高橋 裕輔
原田 寿博
佐藤 千尋

生産資材部長 松村 敏生

生産資材部

花き係 長 高橋 裕輔
原田 寿博
佐藤 千尋

米麦係 長 高尾 洋二
米麦畜産課 長 清水 邦晃
米麦畜産課 補佐 西澤 克美
米麦係 長 山内 一広
米麦係 主任 馬淵 亮介

技術アドバイザー 尾崎 政春

販売部

米麦係 矢萩 健
後藤 佑也
飛渡 弘美
(石崎 亮)

畜産係 長 田村 修司
畜産係 宮本 佳明
(柳本 由子)

馬鈴しよ玉ねぎ課 長 岩崎 孝
馬鈴しよ係 長 佐藤 幸博
馬鈴しよ係 加藤 大典
藤本 雄太
吉野 孝則
山本 郁里
(村中 政貴)

玉ねぎ係 長 鈴木 俊行
野菜花き課 長 稲田 昌史
野菜花き係 長 菅原 尚泰
野菜係 長 稲毛 保之
大湊 寿隆
佐川 誠
(府川 麻姫)

花き係 長 高橋 裕輔
原田 寿博
佐藤 千尋

生産資材部長 松村 敏生

生産資材部

花き係 長 高橋 裕輔
原田 寿博
佐藤 千尋

生産資材課長 高倉 隆幸
資材係長 後藤 将孝
資材係主任 長澤 綱士
資材係 立花 一男

小野寺 歩
(桜井 淳平)
(古瀬 愛)

農業機械係
(中川裕希子)
吉田 敏弘
(橋場 茂雄)

技術指導嘱託
【中村 幸夫】
【佐藤 英夫】

由仁支所

由仁支所長 中田 政行
金融共済課長 井上 聡
金融共済課長補佐 市川 尚巨
金融係 藤本 由香
井上ちひろ

(山口愛祐美)
(今村 栄子)

共済係 武田 彩佳
経営相談主任 村上 奨
経営相談係主任 佐々木博文

経営相談係 鈴木 貴子

由仁営農センター

由仁営農センター長 工藤 直行
由仁営農センター課長 柄澤 公英
由仁営農センター課長補佐 西村 嘉博
営農係 吉田 拓

販売係長 高橋 有宇
(吉井 希美)
(富澤 演枝)
販売係 向井 敬祐
村田 佳隆

資材係長 久保 良幸
(安川 美穂)

資材係長 山田 典正
資材係調査役 村本 守
資材係 滝本 祐輔
秋村 聖

北川美津穂
(鳥井 成人)
(矢野 忠憲)

技術指導嘱託【佐藤 正之】
(鎌田砂千子)

三川出張所

三川出張所長【大田 義治】
金融共済係主任 芝山まゆみ
金融共済係 細川 育
(佐藤 陽子)

継立出張所

継立出張所長 山崎 俊英
金融係長 村中由香里
金融係 三原 結花
(山崎 美貴)
資材係長 高橋 邦房
資材係 古賀 聖都

(安達さとみ)

栗山農業振興公社出向

事務局長 島 雅昭

由仁土地改良センター出向

成瀬 陽一
《森下 加奈》

株式会社メリーワーク

代表取締役社長 大友 伸彦
専務取締役 中島 孝幸
常務取締役 山崎 了次
総務部長 倉知 齊
総務係主任 小林 美咲
総務係 中井 美希
〔武岡 宏美〕

《本堂みゆき》

・長谷川弘子
・小川 則子

・高崎 輝子
・高崎 悠基
《丸山 紀之》

・萩原 雄太

業務部長 宮川 哲也

△コプ由仁店長〔田中 明敏〕

△コプ由仁店長〔坂田 保彦〕

△コプ由仁店〔増田 年保〕
《飛田 幸治》

《原田 達也》

《當摩由利子》

《立原寿美子》

《松本奈緒子》

《加藤 明美》

《錦古里伸子》

《富澤紀代美》

《橋場ゆうか》

・大石 啓子

・中村真由美

・成田佳奈美

・岩部 由江

△コプ三川店《中村みづ子》

・松尾 香奈

・鎌田 七美

・松本 彩子

△コプ継立店《岡村 淑江》

《仁木 美穂》

栗山給油所長〔傳庄喜久夫〕

・吉井 雅哉

〔宮本 孝〕

《佐藤 満》

《中嶋 美穂》

・元木 聖道

由仁給油所課長〔小田島茂樹〕

由仁給油所長〔鎌田 敏雄〕

由仁給油所係 吉江 友美

〔白井 好満〕
〔成澤 美帆〕
《島崎 卓》

直売所《棟方奈々恵》

・能渡真由美

・工藤 泉

・小野美希子

・島 綾子

J A

正職員

(準職員)

【準職嘱託】

〔準職臨時〕

〈準職パート〉

メリーワーク

〔MW正職員〕

〔MW嘱託〕

《MW臨時》

・MWパート

104名

17名

8名

9名

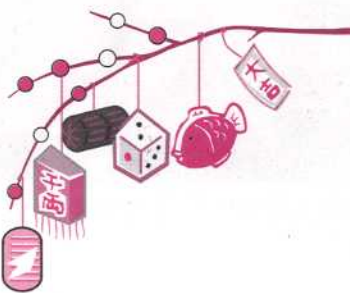
3名

10名

1名

19名

16名



青年部海外農業視察研修

J Aそらち南青年部 書記長

中村隆浩

事業部長

片桐邦博

私たちは、10月28日から5泊7日で
イタリア（ミラノ・ローマ）フラン
ス（パリ）の2カ国へ行ってきました。
千歳から韓国経由で空路ミラノへ約
15時間かけて移動して1日が過ぎ、2
日目にミラノ郊外稲作農家を視察しま



稲作農家にて

した。ここは州立公園の
中にあり川の水源地を利
用して、土壌は肥沃で環
境に恵まれている地域で
した。この農場は5人で
600 haを経営し、内
200 haを稲作、残りは
トウモロコシを栽培して
いて自然豊かな地域とい



水田の様子

うこともあり農業はほと
んど使わず、肥料も有機
肥料を使っていました。
この農場のお米はレスト
ランとの契約でしか食べ
られないそうで、自分た
ちが認めた相手にのみ販
売されているそうです。
印象に残っているのが広
大な経営規模より自然や
環境を大切にしているこ
とでした。次に国立米公
社・稲作センターを訪問しました。ここでは主に農家への研究
の発表の場となっていて日本の農業試験場と普及センターのよ
うなところでした。



ランボルギーニのトラクター

イタリアの稲作の歴史と現状を説明してもらい、最近では消費者
が米を選んで食べるようになってい
る事や後継者不足など国は違っても農業
を取り巻く環境は同じだと感じまし
た。

次にイタリア農機具メーカー S A
M E D E U T Z F A H R (セイム
ドイツファール) 本社兼工場を視察
しました。現在日本にはほとんど輸入
されていないメーカーですが、トラク



イタリアらしいパッケージの数々

イタリアでは、最後の視察先で有機農業協会を訪問しました。ここは、農協が所有している有機農産物の直売所で、市街地の中心にあり、沢山の農家が野菜の価格を決めテナントの様に、小さい農家でも販売できる仕組みになっていました。なかでも仕事帰りの人達が、農家まで行かないと買えなかった有機農産物が買えるという事でローマ市内でも好評と言っていました。1件の農家では出来なかった事を皆で取り組み、農協に手助けをしてもらい、街全体で有機農業を盛り上げていました。

フランスでの視察では、有機栽培農家に行き現地の農業事情を研修してきました。「他の国より農薬の使用が多くエネルギーの使い過ぎる農業、しかも、



有機農産物の直売所

ター・コンバイン・ディーゼルエンジンなど世界主要メーカーのひとつであり5つのブランドで世界中に製品を出しているそうです。工場見学では初めてトラクターを製作しているラインを見ることができ圧倒されました。日本でも販売を増やしていきたいとのことでした。



フランスの直売所（玉ねぎ）

をしているという事に気づきました。最後に、僕達を海外視察研修に参加させてくださった盟友、関係者の皆様、そして家族に感謝し地域農業の発展に役立たせていきたいと思えます。本当にありがとうございます。



凱旋門まえにて

技術、肥料の進化で工業的な農業になってしまった。」と話していた、「トゥーレル農場」では、1000haを目標としていた考えを変え、現在では150haの面積で130haをシリアル、残りを有機野菜にし、フランスでは失業者が多い事もあって、野菜部門でアルバイトを5人雇用し、自ら直売所を運営するなど自己利益だけではなく、地域の活性化や環境保全、雇用確保に協力していると話していました。



左：中村隆浩 右：片桐邦博

役員海外視察研修を終えて

今般、10月28日より第1班、11月5日から第2班とし、それぞれ8日間の行程で欧州における農業事情・流通等について研修視察を行ってまいりました。渡航国はイタリアとスペインの二カ国で、滞在についてはローマ・マドリッド・バルセロナをそれぞれ2日間としております。

イタリアの農業は、極めて零細な構造と地中海産品の生産で特徴づけられる。地域的には水稻・小麦・酪農が盛んな北部と地中海性気候の下、硬質小麦、オリーブ、柑橘類等の生産が主体となっている南部および島嶼に区分される。GDPに占める農林水産業の割合は2%で、経済活動人口に占める農業・経済活動人口の割合は4%となっている。主要農産物は小麦（硬質小麦及びデュラム小麦）コメのほか、地中海農業の特徴であるオリーブ・ぶどう・トマト・とうもろこし等である。ぶどうは世界第1位、オリーブは世界第2位の生産量である。オリーブ油の生産量は天候による豊凶の差が激しいが、平均的にはEU全体の3割強のシェアを占めている。又、北部のロンバルディア平原を中心としてコメの生産が盛んであり、EU全体の5割強に

相当する140万トンが生産されている。又、ワインの生産量はフランスに次いで世界第2位である。

視察先は、ローマ近郊のオーガニック農場「アグリカルトゥーラヌオーヴァ」を訪れました。国土の管理を国が主に行っている状況から、ここでは300haの農地を年3万ユーロの賃貸料にて経営を行っている。従業員は50名位で、作物としては施設栽培のミニトマト・ピーマン・セロリ、土地利用のズッキーニ等の他、畜産では羊1千匹以上の放牧、肉牛の他、馬（乗馬用）も飼育している。

当地区は自然保護区域となっており、1977年に農業を志す者へ土地の使用が始まり、15年前から法律による書面が交付され正式な手続きが踏まれたとのこと。ローマの旧市街を囲む環状線付近に位置している立地条件から販売面でも有利であり、又、現在是有機野菜が農業のブームになっていることから子供たちに対する農業教育を行うシステムをつくり、社会教育にも寄与しているとのことであります。

圃場並びに施設では、マルチの敷かれた大区画圃場や簡易な大型ハウスにおける施設野菜の栽培をはじめ、羊の搾乳場と乳製品加工場、物を燃やしてエネルギーを得る施設を視察しました。そのほか、敷地内の直売場とあわせ、独自の朝市2店舗・旧市街近くのショップも展開しているとのことであります。

スペインの農用地面積はフランスに次いでEUで第2位であり、EU27カ国の15.1%を占める。農用地の国土面積に占める割合は約57%で、そのうち耕種作物が約5割、永年牧草・放牧地が約4割である。スペインは、地中海性気候を利用した野菜・

果実・柑橘類の大生産国であり、オリーブオイルの生産量が世界第1位、オレンジ・みかん・レモンの輸出量が世界第1位となっている。スペインは気象・自然条件に恵まれない乾燥地域が多く、灌漑地域の割合も低い水準にとどまっていることから、穀物等の土地利用型の作物の生産性は他の欧州諸国に比べて低い。

視察先は、流通事情として、マドリッドでは、エロスキ・サンミゲル市場、バルセロナではサンジョセップ市場を見てまわりました。

エロスキは、バスク地方で有名なモンドラゴン協同組合が運営するスーパーマーケットチエーンで、最も大きいハイパーマーケット（面積4,500m²または12,000m²、中規模店舗（面積700〜2,000m²）、都市部の小規模店舗（450m²）の3形態で展開しており、食料品チエーンの他、眼鏡用品ストア・ガソリンスタンド・旅行代理店等を運営し、スペイン国内で1,000店舗にもほり、会員が約45万人で約60億ユーロの売上高とのことです。

マドリッドの2日目にはサンミゲル市場を訪れ、ここでは季節の果物・多種のチーズ・野菜・シーフード・チヨリソや生ハムなど、スペイングルメに溢れており、基本的に量り売りされている。市場の中ではカフェテリアやバルがあり、その場で試食できるようになっていました。

バルセロナのサンジョセップ市場は中の店舗数が約270店と、サンミゲル市場とは比較にならない広さでありましたが、現地では殆どが共働きの世帯で当日の土曜日が買い出しの日となっており、黒山で埋まっております。市場としては歴史観

があり、基本的にパッケージを行わない果物・野菜・家禽類・魚・食材・肉類の対面販売で、スペイン最大の市場としての現場を視察することができました。

農業視察のほか、それぞれの地における文化財や世界遺産をも視察し、欧州における歴史的な見学もしたなかで、現在おかれているEUの歴史及び経済状況と国際的な関わりを含め今研修で得たことを十分に生かし、今後においても組織目的達成のため更なる尽力が必要と実感し、努力していきたいと考えております。

以上、研修機会を与えていただいたことにお礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。



サンミゲル市場前（第1班）



農場研修状況（第2班）

～有意義な意見交換～

地区別懇談会開催

11月26日～29日に亘り平成24年度農協地区別懇談会が各自治区で開催されました。

今回の懇談会では、平成25年度営農計画書、農業政策、販売物の取扱実績などについての説明があり、出席された組合員の皆様からは様々なご意見・ご質問を頂きました。

皆様から頂いたご意見・ご質問及び回答につきましては、早急に取りまとめご報告させて頂きますので、よろしくお願い申し上げます。



北学田地区の様子

～全道にPR～

あぐり王国に出演



撮影中の様子

12月15日に放映された「森崎博之のあぐり王国北海道」(北海道放送 HBC)の収録が12月3日に水上農園さん(富士)の圃場やクッキー工房「つくしんぼう」等で行われ、クッキーづくりの様子が紹介されました。

野菜を使ったクッキーを試食した森崎氏やあぐりっこ隊たちは、その素朴な味に感動した様子でした。

最後にはJA紹介も行われ、わずかな時間ながらもJAのPRも行いう事が出来ました。

～年末年始の準備～

女性部がしめ縄作成

12月3日・4日、女性部がJA本所に於いて、毎年恒例のしめ縄作成を行いました。

集まった女性部員の皆さんが役割分担して、国産のスゲを材料に、ひねりを加えて束ね、巻き合わせたものに装飾品を飾り付けるなどし、神棚用や玄関用の大々小様々なしめ縄が作製されました。

作製されたしめ縄は、正月に会員宅に飾られ、一部はJA本部にも寄贈されました。



協力しながらの作業

平成25年度 営農計画書集中受付の実施について

1. 日 時：下記の日程表の通り、ご連絡致します。
2. 持ち物：平成25年度営農計画書・クミカン登録印
3. 注意点：営農計画書は、各自事前にご記入のうえお越し下さい。
データ入力をされた方につきましては、各自印刷のうえお越し下さい。

【栗山地区】

栗山地区】

日付	場所	時間	対象地区			
1月21日 (月)	本 所 1階 第三会議 室	9:00 ~ 12:00	栗山 中里	桜丘 湯地	山の手 森	富士
		13:00 ~ 16:00	鳩山	雨煙別	昭和	緑丘
1月22日 (火)		9:00 ~ 12:00	北学田	桜山	旭台	
		13:00 ~ 16:00	杵臼			
1月23日 (水)		9:00 ~ 12:00	共和	三日月	角田	阿野呂
		13:00 ~ 16:00	大井分	南学田		
1月24日 (木)		9:00 ~ 12:00	継立	日出	御園北	
		13:00 ~ 16:00	御園1 東山	御園2 滝下	南角田	円山
1月25日 (金)		9:00 ~ 12:00	予備日			
		13:00 ~ 16:00	予備日			

【由仁地区】

由仁地区】

日付	場所	時間	対象地区
1月21日 (月)	由仁支所 大会議室	9:00 ～ 12:00	山形 古川 伏見
		13:00 ～ 16:00	下古山 山楨
1月22日 (火)		9:00 ～ 12:00	中岩内 古山
		13:00 ～ 16:00	上岩内 下岩内
1月23日 (水)	由仁集落 センター	9:00 ～ 12:00	西三川 熊本
		13:00 ～ 16:00	本三川 中三川
1月24日 (木)		9:00 ～ 12:00	東三川東 川端
		13:00 ～ 16:00	東三川南 東三川平成 東三川北 東三川中央
1月25日 (金)	由仁支所 大会議室	9:00 ～ 12:00	予備日
		13:00 ～ 16:00	予備日

※上記時間帯にお越しいただけない場合は別日での対応とさせていただきますので、ご連絡頂きたく存じます。

年末・年始の営業時間のお知らせ

年月日		本部事務所 支所事務所 生産資材部 営農センター	金融・共済業務		給油所	Aコープ店舗 直売所
			窓口業務	ATM (現金自動払機)		
平成 24年 12月	28日(金)	8:30～ 12:00	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業 継立店 12:00 まで
	29日(土)	休業	休業	9:00～12:00	通常営業	通常営業 継立店休業
	30日(日)	休業	休業	休業	通常営業	通常営業 継立店休業
	31日(月)	休業	休業	休業	7:30～15:00	由仁三川店 15:00 まで 直売所 12:00 まで 継立店休業
平成 25年 1月	1日(火)	休業	休業	休業	休業	休業
	2日(水)	休業	休業	休業	休業	休業
	3日(木)	休業	休業	休業	休業	休業
	4日(金)	休業	通常営業	通常営業	10:00～15:00	由仁店三川店 10:00～15:00 継立店・直売所休業
	5日(土)	休業	休業	9:00～12:00	8:00～19:00	由仁店三川店 10:00～18:00 継立店・直売所休業
	6日(日)	休業	休業	休業	8:00～19:00	休業
	7日(月)	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業

各種事故・トラブル発生時の連絡先

	年末年始休業日(29日～3日) および営業時間外	営業時間内(4日～)
ご契約のお車の 事故やトラブルに 遭われた際の連絡先	J A 共済事故受付センター フリーダイヤル ☎0120-258-931	本所 共済課 ☎72-1406 由仁支所 金融共済課 ☎83-2322
キャッシュカード 盗難・紛失の際の 出金停止など	北海道信連システム運用課 フリーダイヤル ☎0120-944-904 (29～31日のみ受付、1月1～3日休業)	本所 金融課 ☎72-1392 由仁支所 金融共済課 ☎83-2322 継立出張所 金融係 ☎75-2226 三川出張所 金融共済係 ☎87-3036

新春お楽しみクイズ

豪華賞品が
当たる!



大 賞

ペア温泉宿泊券 1組!

- ★お年玉特賞 商品券5千円2名
- ★お年玉賞 商品券3千円1名
- ★お小遣い賞 商品券1千円5名

〈応募方法〉

官製ハガキに答え、住所、氏名、年令、組合だよりの感想をご記入の上、JAそらち南「お年玉お楽しみクイズ」係まで応募下さい。

〈締め切り〉

1月11日(金) 必着です。

〈当選発表〉

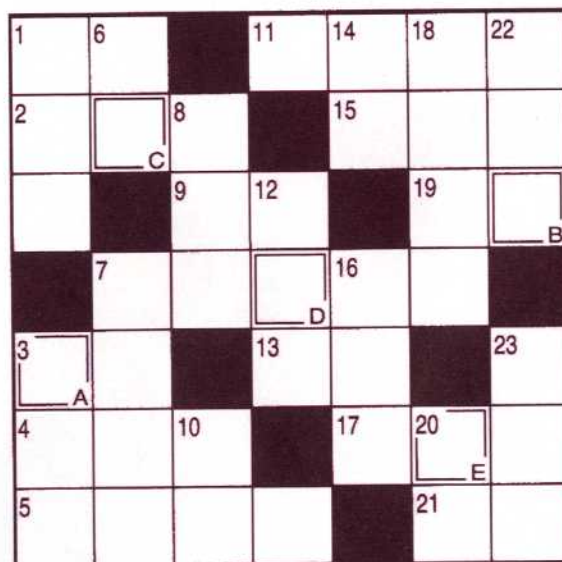
2月号の誌上で発表します。

タテのキー

- 1 マガモを改良した家畜
- 3 牛や馬に食べさせます
- 6 派手の反対語
- 7 濡れた手を拭いたり汗をぬぐったり
- 8 寒い日はこれから出るのがつらい
- 10 生物や化学を学びます
- 12 「ABC」ではなく「abc」の方
- 14 液体をこして個体と分けます
- 16 風邪の予防にガラガラガラ
- 18 成人式で多くの女性が着ます
- 20 三人寄れば文殊のー
- 22 元日に一状が届いた
- 23 職場は主にこれをする場所です

ヨコのキー

- 1 舌で感じ取ります
- 2 邪馬台国の女王
- 3 一の入りは例年1月5日～6日ごろ
- 4 船が停泊するときに下ろします
- 5 世界で一番小さな国
- 7 元日の神社や寺が混雑する理由
- 9 空に掲げて遊びます
- 11 ペリーが乗って来ました
- 13 手前みそと似た意味のー自賛
- 15 せき止めに良いといわれるよい香りの果物
- 17 赤くて甘酸っぱい果物
- 19 姓氏の一つ 馬子や入鹿が有名
- 21 平成25年は巳(へび)です



答え

A	B	C	D	E

1月2月の売り出し予定 Aコープ



1月

4日…初売り
8～9日…ダイナマイト2day's
11～12日…新春旬鮮市
15～16日…88円均一
18～19日…お客様週末感謝祭(タ市)
22～23日…得の市
25～26日…寒さに負けずにお鍋市
29～30日…月末大市
31日…店舗休業

2月

1～2日…家族団らんあつたがセール
5～6日…全力祭
8～9日…もう少ししてバレンタインセール(タ市)
12～13日…得の市



初売り特典

1月4日、Aコープ初売りにお越しの
お客様で、**2,000円以上お買い上げ**
の方に、由仁店三川店合わせて
先着250名に卵1パックプレゼント!
お誘い合わせの上、是非お越しください。



A-COOP 由仁店・三川店

○三川店…毎週日曜日休み

第38回 Aコープチェーン農協連合展示会

新春 華秀苑 大総合展

◆と き／平成25年1月25日(金)～28日(月)

【営業時間:AM9:00～PM9:00 28日は午前中まで】

◆ところ／登別グランドホテル 3階大会場

由仁店のバス誘致日は1月25日(金)です。

*バス時刻等はAコープ係員がご案内致します。



きもの・婦人服・宝飾の祭典

【同時開催】コート・バッグ・メガネ・オーダー靴

参加ご希望の方はAコープ店にお申し込み下さい

*JA女性部・ご家族での多人数参加はご容赦ください

■主催/Aコープチェーン・北海道

■後援/ホクレン 協賛/華秀苑(株)ダイカ

ご参加者特典

- 登別グランドホテルに1泊ご招待致します
但し、宿泊費一部ご負担いただきます。(当日会場にて)
●宿泊の方…5,000円(土曜日は6,000円) *日帰り無料
*通常3人～4人で1部屋です。(2人部屋もご用意できます)
- 会場までバスにて無料送迎致します
- 84,000円以上お買上の方に負担金全額返金
- 夕食バイキング・歌謡ショー・お楽しみ大抽選会

*1月26日・27日参加ご希望の方は個人参加となります(Aコープ店にお申し込み下さい)



あけましておめでと
うございます。本年も
よろしくお願い申し上
げます。
本年も組合員皆様
のご活躍をより多くお伝
えすべく、精一杯頑張
ります。
ご協力の程よろしく
お願い致します。

編集後記

1月
4日 Aコープ初売り
金融部業務始め
給油所業務始め
7日 一般業務始め
21日 第13回理事会(予定)
28日 第14回理事会(予定)
31日 決算棚卸(予定)



行事予定



そらち南 くみあいだより

2013 新年号 Vol. 48

※次号(2月号)は、2月10日発行です。

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷